



# マサバ 太平洋系群

主な漁業と漁期

未成魚・成魚 まき網・周年  
棒受網: 1月～6月  
たもすくい網: 1月～6月

## 生態

マサバは日本周辺で漁獲される代表的な浮魚ですが、80年代以降減少し続けていたものの、近年回復傾向に転じ、資源水準も高くなってきています。

### ●分布・回遊

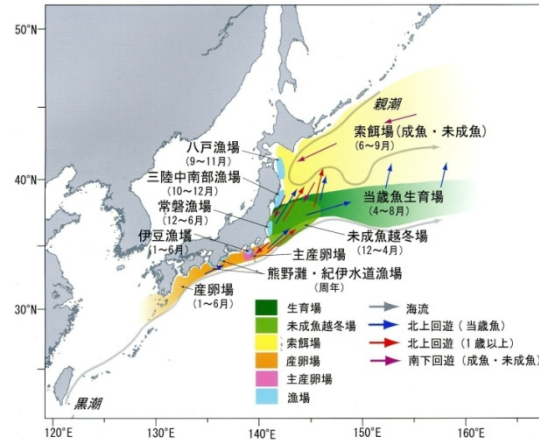
日本近海を中心に黄海・東シナ海から日本海南部、北西太平洋に分布しています。

静岡県海域に分布するマサバは太平洋系群に属しています。太平洋系群の0歳魚は親潮域も含めた北西太平洋の広域に分布し、成魚は道南から東北の沿岸地域を索餌場とします。基本的には初夏に北上し、秋季まで索餌回遊を行います。その後冬季から春季にかけて南下回遊して産卵をします。しかし、時折、「根付」と呼ばれる回遊を行わないマサバも見受けられます。

### ●産卵期・産卵場

産卵期: 1～6月で、最盛期は年により変動します。  
産卵場: 主要な産卵場は伊豆諸島周辺海域です。

マサバ太平洋系群の生活史と漁場形成模式図



(国研)水産研究・教育機構資料

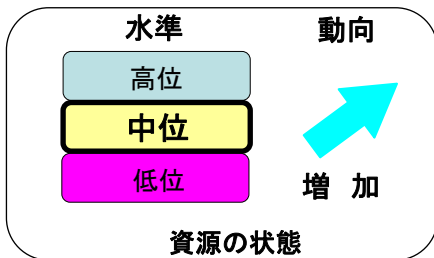
### ●成長・成熟

寿命は8歳程度です。1年で尾叉長20cm後半、体重300g程度まで成長し、4年で30cm後半、体重700g程度に成長します。しかし近年、成長の遅れが見られ、特に2013年級群は尾叉長、体重ともに過去平均値と比較してかなり低い値を示しています。

年により違いはありますが、2歳で30%、3歳で90%、4歳以上で100%が成熟します。

## 漁業・資源動向

### 【資源】



- 2017年の資源評価では、太平洋系群の資源水準は中位で増加傾向にあります。
- 2016年の親魚量は71.6万トンと推定されており、望ましい親魚量とされる45万トン以上を上回り、中位水準に回復しました。現在増加傾向にあるため適切に管理していくことで、持続的な資源利用が行えると考えられます。

《国の資源評価へのリンクはこちら》

ダイジェスト版

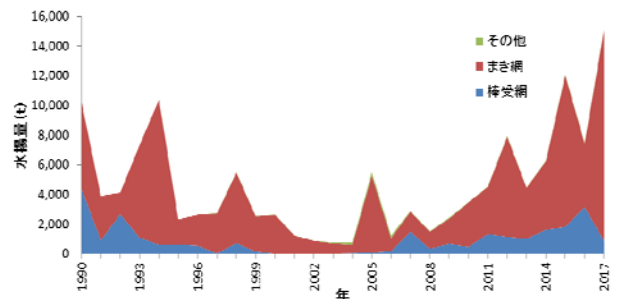
[http://abchan.fra.go.jp/digests2017/html/2017\\_05.html](http://abchan.fra.go.jp/digests2017/html/2017_05.html)

詳細版

<http://abchan.fra.go.jp/digests2017/details/201705.pdf>

### 【漁業】

- 静岡県では、主にまき網とたもすくい網で漁獲されます。たもすくい網は、マサバの来遊に合わせて、棒受網漁船により操業されます。
- 現在、伊豆諸島周辺海域で操業する静岡県の棒受網漁船は、小川に2隻、安良里に1隻、伊東に3隻あります。
- 棒受網が漁業を行う伊豆諸島近海や、まき網の操業区域である駿河湾周辺では、主に冬季から春季に出現します。



マサバ漁業種類別水揚げ量推移

※主要港合計: 小川、沼津、静浦、伊東

担当者の一言: 鮮度劣化の激しい魚ですが、鮮度の良いマサバは各地でブランド魚として注目されています。

問合せ先

静岡県水産技術研究所資源海洋科 054-627-1817